

令和7年3月

医療関係者各位

株式会社陽進堂

規制区分変更及び  
「使用上の注意」改訂のお知らせ

プロトンポンプ阻害剤  
ラベプラゾール Na 錠 5mg 「YD」  
ラベプラゾール Na 錠 10mg 「YD」  
ラベプラゾール Na 錠 20mg 「YD」  
(ラベプラゾールナトリウム錠)

今般、令和7年3月21日付 厚生労働省告示第63号により、ラベプラゾールNa錠5mg/10mg「YD」、ラベプラゾールNa錠20mg「YD」に関しまして、処方箋医薬品指定が解除されましたのでお知らせ申し上げます。

なお、製品の在庫の関係上、当該変更品がお手元に届くまでしばらくは旧来の「処方箋医薬品」表示品が流通致しますので、ご使用に際しましては、下記改訂内容をご参照賜りますようお願い申し上げます。

また、自主改訂により下記の通り使用上の注意事項を変更致しましたので、併せてお知らせ申し上げます。(下線部分が変更箇所です。)

記

〈改訂内容〉

規制区分変更

改訂後	改訂前 (部：削除)
該当なし	<u>処方箋医薬品</u> <sup>注)</sup> <u>注)注意—医師等の処方箋により使用すること</u>

「使用上の注意」改訂

改訂後	改訂前 (部：削除)
<u>2. 禁忌 (次の患者には投与しないこと)</u> 2.1 変更なし 2.2 <u>リルピピリン塩酸塩を投与中の患者 [10.1 参照]</u>	<u>2. 禁忌 (次の患者には投与しないこと)</u> 2.1 省略 2.2 <u>アタザナビル硫酸塩、リルピピリン塩酸塩を投与中の患者 [10.1 参照]</u>

改訂後	改訂前 (部：削除)															
<p>10. 相互作用 変更なし</p> <p>10.1 併用禁忌 (併用しないこと)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>                     リルピビリン 塩酸塩 (エジュ ラント) [2.2 参照]                 </td> <td>変更なし</td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>10.2 併用注意 (併用に注意すること) 変更なし</p>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	リルピビリン 塩酸塩 (エジュ ラント) [2.2 参照]	変更なし	変更なし	<p>10. 相互作用 省略</p> <p>10.1 併用禁忌 (併用しないこと)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>                     アタザナビル 硫酸塩 (レイア タツ) [2.2 参照]                 </td> <td>                     アタザナビルの 作用が減弱する おそれがある。                 </td> <td>                     本剤の胃酸分 泌抑制作用に より、胃内 pH が上昇し、アタ ザナビルの溶 解性が低下し、 アタザナビル の血中濃度が 低下するおそ れがある。                 </td> </tr> <tr> <td>                     リルピビリン 塩酸塩 (エジュ ラント) [2.2 参照]                 </td> <td>省略</td> <td>省略</td> </tr> </tbody> </table> <p>10.2 併用注意 (併用に注意すること) 省略</p>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	アタザナビル 硫酸塩 (レイア タツ) [2.2 参照]	アタザナビルの 作用が減弱する おそれがある。	本剤の胃酸分 泌抑制作用に より、胃内 pH が上昇し、アタ ザナビルの溶 解性が低下し、 アタザナビル の血中濃度が 低下するおそ れがある。	リルピビリン 塩酸塩 (エジュ ラント) [2.2 参照]	省略	省略
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子														
リルピビリン 塩酸塩 (エジュ ラント) [2.2 参照]	変更なし	変更なし														
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子														
アタザナビル 硫酸塩 (レイア タツ) [2.2 参照]	アタザナビルの 作用が減弱する おそれがある。	本剤の胃酸分 泌抑制作用に より、胃内 pH が上昇し、アタ ザナビルの溶 解性が低下し、 アタザナビル の血中濃度が 低下するおそ れがある。														
リルピビリン 塩酸塩 (エジュ ラント) [2.2 参照]	省略	省略														

〈改訂理由〉

●処方箋医薬品指定の解除

令和7年3月21日付 厚生労働省告示第63号に基づき、処方箋医薬品の指定が解除されました。

●「2. 禁忌 (次の患者には投与しないこと)」、「10.1 併用禁忌 (併用しないこと)」からアタザナビル硫酸塩の削除

「アタザナビル硫酸塩」は、製造販売中止されているため、記載を削除いたしました。

●DSU No.335(2025年4月発行)掲載予定 (「使用上の注意」改訂)

●最新の電子添文につきましては、以下ホームページをご参照ください。

陽進堂ホームページの医療関係者様向けサイト(<https://www.yoshindo.co.jp/>)

医薬品医療機器総合機構のホームページ(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)

●専用アプリ「添文ナビ」を用いてGS1バーコードを読み取ることで、電子添文を確認頂くこともできます。

製品名	GS1 バーコード
ラベプラゾール Na 錠 5mg/10mg「YD」	
ラベプラゾール Na 錠 20mg「YD」	

お問い合わせは、担当 MR 又は弊社医薬営業本部までご連絡ください。

㈱陽進堂 医薬営業本部 ☎ 0120-647-734

以上